

③ くらしを守る



1 消火活動の様子
かっどう ようす



2 交通事故の現場
こうつうじこ げんば

くらしの安全を考えよう

はやとさんたちは、新聞やテレビのニュース、自分の体験、去年の安全教室などを思い出しながら、クラスみんなで話し合いました。



「火のいきおいがとても強くて、消火する人たちは、本当にこわくないのかと思いました。」



「けむりで前が見えなくて、とてもこわかったです。火事は本当にこわいと思いました。」

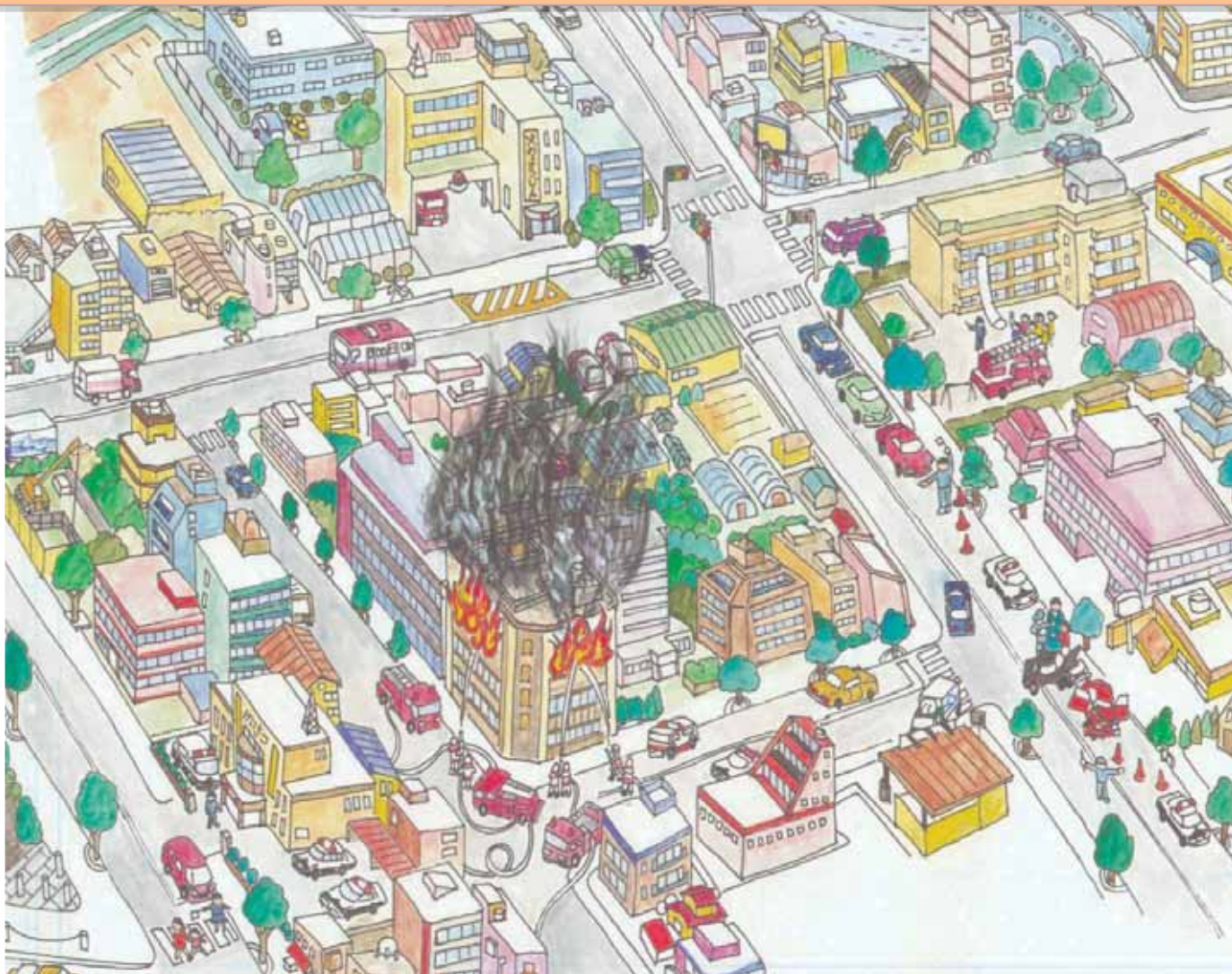


「交通事故で車がつぶれてしまってこわいと思いました。」



火事や事故が起きたときに、そこで働く人たちの気持ちについて、みんなで話し合ってみましょう。

1 火事からくらしを守る



つかむ!

火事が起きたら、どの
ようにすればよいので
しょうか。

火事だ！ 火事だ！

はやとさんたちは、火事の様子について、イラストを見ながら気づいたことを話し合いました。



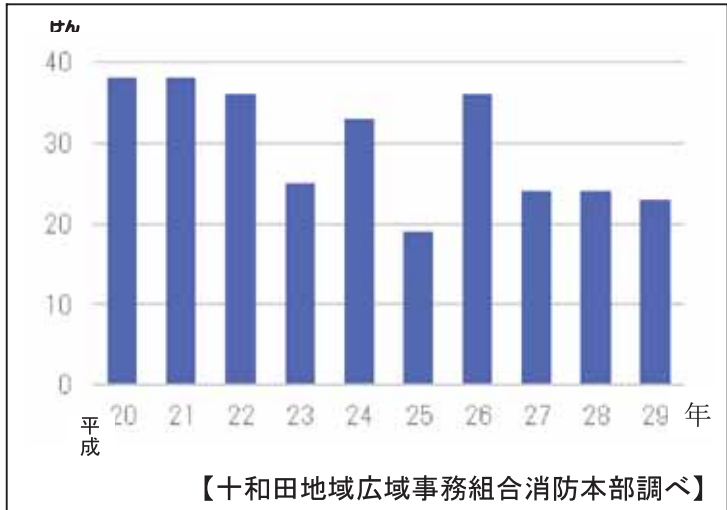
「高いたて物が火事になり、消防自動車しょうぼうじどうしゃが出動して消火しています。」



「救急車きゅうきゅうしゃも近くに止まっています。」



1 119番の電話から消防自動車が到着するまで



2 市の人口の変化

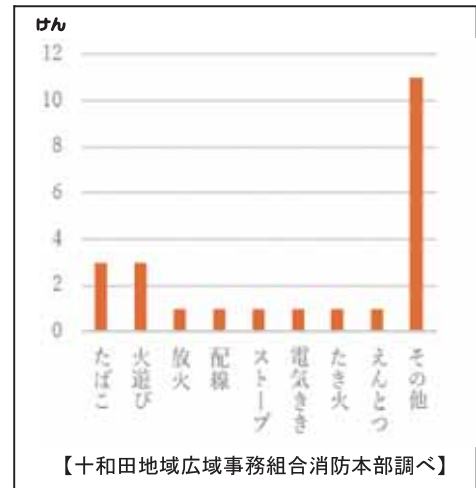


「十和田市の人口は、あまり変わっていないけど、火事の数も、少なくなっているよ。」



「火事の原いんはいろいろあるけど、どうしたらふせぐことができるのかな。」

3 市の火事数の変化



4 平成29年の火事の原いん

はやとさんたちは、火事を消したり、ふせいだりする取り組みについて、まず、消防しょへ行って、調べることにしました。

学習問題

火事からわたしたちの暮らしを守り、また、火事を起こさせないために、どんな人々がどんなはたらきをしているのでしょうか。

予想・計画

学習問題について予想し、調べる計画を立てましょう。

予想を出し合い、調べる計画を立てよう

はやとさんたちは、学習問題について話し合い、予想を出し合いました。

はやとくんの予想



「火事の現場に、 ①
とうちゃくする工夫
があると思うよ。」

さくらさんの予想



「火を消すための
 ② 自動車
にも工夫があると思
うわ。」

ゆうまくんの予想



「消防しよはたらで働いて
いる人が、火事おを起
さないための取組
みをしているんじ
ゃないかな。」

わたしの予想

はやとさんたちは、みんなで話し合って、たしかめたいことや調べたいこと、調べる方法ほうほうをまとめました。

調べること

- ア 119番してから消火までの様子ようす
- イ 消防しよの人たちの仕事の様子
- ウ 消防団だんの人たちの働きはたら
- エ 身のまわりの消防しせつ
- オ 消防しよや地いきの取組み

調べ方

- ※ () 内は、調べること
- 消防しよに行って、見学したり話を聞いたりする。(ア, イ)
 - 消防しよで資料をいただく。(ア, イ, オ)
 - 図書室の本で調べる。(ア, イ, オ)
 - 学校のまわりを歩いて調べる。(エ)
 - 地いきの人に聞く。(ウ, オ)
 - 消防しよや火災かさい予防よぼうについてのホームページをさがす。(ウ, オ)



1 消防しょの見学

しょうぼう

消防しょへ行こう

調べる

消防しょの人たちの仕事は、どのようなものなのでしょう。

はやとさんたちは、消防しょへ見学に来ました。知りたいことをいろいろ聞いてみました。



「消防自動車は、どうしてあんなにはやくどうちゃくできるのかな。」



「ビルのような高いたて物が^{かじ}火事^{かじ}のとき、はしごがあるとべんりだね。はしごはずいぶん高くまで上がるんだね。」



「火事がないとき、消防士のみなさんはどうしているのかな。」

P49の答え ①はやく ②消防



2 てんけん 点検をする消防士



3 きゅうじょ 救助の訓練

しゅつどう やく
出動するまで (約1分)

1 

かみん室から出る

2 

3 ぼうか
防火服を着る

3 

消防自動車に乗る



消防しょの川村さんの話

私たちの仕事は、みなさんの命ざいさんや財産を守ることです。
出動指令しゅつどうしんれいを受け、火災の現場かさいげんばにかけつけ、安全に、確実に、
すばやく消火活動ができるように毎日訓練をしています。

訓練では、実際の火災を想定してはしごを登ったり、ホースをのばしたり、
消防車から水を出したりしています。また火災の現場で使う機械や道具を点検することも大事な仕事の一つです。

このように火災があってもすぐ対応たいおうできるようにしていますが、十和田市から火災がなくなることを願っています。

ことば

「訓練・点検」

消防の仕事は、はやく、確実に、そして安全に行うことが大切です。消防士は、ふだんから消火や救助の訓練をしたり、消防自動車や道具などの点検をしたりして、火事にそなえています。

消防しょを見学してわ
かったことを整理しよ
う。

しょうぼう

消防しょのくふう

はやとさんたちは、消防しょでいろい
ろなことを見学できました。そこで、わ
かったことを整理することにしました。



「消防自動車は、ふつうの車とち
がうところがいっぱいあったね。」



「きんお時間や防火服にもひみつ
がありました。」

消防自動車のひみつ

- ◎消火や救助のための道具がたくさん
つまれている。
- ◎出動するときは、サイレンの大きな
音、赤色とう、スピーカーを使って
みんなに知らせ、現場にむかう。
- ◎火事の①や②によって、出動
する消防自動車がちがう。
- ◎はしごが長くのびるので、高いたて
物の火事でも消火や救助ができる。
車がたおれないように、ささえが出
てくる。



- ・見学してわかったことを友だちと出し合ひましょう。
- ・メモや写真を使って、特に伝えたいことをノートやカード
に整理しましょう。

きんむ時間のひみつ

		8:30	8:30	8:30	8:30	8:30	8:30	8:30
		1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
第1隊	A 消防士	当番	非番	当番	非番	週休	週休	当番
	B 消防士	当番	非番	週休	週休	当番	非番	当番
	C 消防士	週休	週休	当番	非番	当番	非番	当番
第2隊	D 消防士	非番	当番	非番	週休	週休	当番	非番
	E 消防士	非番	週休	週休	当番	非番	当番	非番
	F 消防士	非番	当番	非番	当番	非番	週休	週休

- ◎夜に火事が起きてもおおすぐかけつけられるように、当番の日は ③ 時間はたらく。
- ◎毎日はたらくわけではなく、「非番」という日やお休みがある。ひぼん
- ◎十和田消防本部は、十和田市と六戸町ろくのへ たんとうを担当していて、3つの消防しょと1つの出張所しゅっちょうじょがあり、消火活動にあたる人をおおかほしている。

防火服や道具のひみつ

- ◎防火服は ④ 度の火に約 ⑤ 秒間たえられる。やく
- ◎防火服とマスクで ⑥ kg、さらに ⑥ kg のボンベをせおって消火活動をする。
- ◎ヘルメットは、耳や頭がすべてかくれるようになっている。
- ◎大きな力ですきまをつくったり、じゃまなものを切ったりする道具がある。



1 防火服を着た消防士



2 ものを切る道具

調べる

119 番に電話をかけると、どこにつながり、どこへれんらくがいくのでしょうか。

119 番への電話



お
火事が起きたら

〇〇町三丁目△△ビルから出火しました。しきゅう出動してください。

しょうぼう
消防しょ



出火現場には、けが人がいるもようです。救急車も出動してください。

けが人が運ばれます。じゅんびをお願いします。



つうしんしれい
通信指令室



交通じゅうたいが発生しています。車と人の整理をお願いします。

びょう いん
病院



けいさつしょ



ことば

きょうりよく
「協力」

火事ときは、消防しょだけでなく、けいさつしょ、役所、病院、電気会社、ガス会社の関係するところが、はやく、安全に消火や救助ができるように協力します。

〇〇町三丁目△△ビルから出火
しました。出動してください。

消防団



十和田市と消防のために協力
している六戸町



〇〇町三丁目△△
ビルから出火しま
した。協力をおねが
いします。

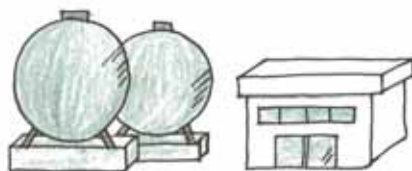
市役所（上下水道部）



電力会社



ガス会社



通信指令室の三浦さんの話

私たちの仕事は、119番の電話を受け、正確な場所、情報を聞き出して、消防車や救急車をいち早く現場へ出動させることです。けいさつしょ、電力会社などへのれんらくもします。

「すばやく・確実・正確な指令」をいつも心がけ、24時間、365日、地域のみなさんの安全・安心を守っています。

ことば

「通信指令室」

119番の電話がつながるところが、消防本部の通信指令室です。火事なのか救急なのか、火事の場所をたしかめて、消防しょに出動を指令したり、ほかの関係するところにもれんらくを入れたりします。

調べる

学校や市の中には、どんな消防せつびがあるのでしょうか。

学校や市の中の消防せつびをさがそう しょうぼう

はやとさんたちは、消防しょを見学したときに消火せんなど、いろいろな消防せつびや救急せつびがあることを教えていただきました。そこで、学校やまちの消防しせつについて調べました。



1 学校内の消防せつび



2 学校内の救急せつび



3 市内の消火せんひょうと標しき



4 防火水そうぼうかと標しき



5 十和田市^{ぼうさい}防災マップ



6 公園にある避難場所案内^{ひなんばしょあんない}



7 住^{じゆう}たく用^{かさい}火災けいほうき



「学校の中にもたくさん消火せつびや救急せつびがあったよ。」



「歩道にはたくさんの消火せんがありました。目立つように標しきを立てたり、色やマークをつけたりしていました。」



「ぼくたちの学校や公園もひなん場所になっていたよ。」



「いろいろなはたらきをするしせつがあるんだね。地いきの人たちが火事にそなえてしていることはないかな。」



「近所のおじさんが消防団に入っているって聞いたことがあるわ。」

はやとさんたちは、消防団について調べることにしました。

ご と ば

「消防しせつ」

消火せんや防火水そうのように、消火活動に使うものや、ひなん場所のように火事から人を守るためにひつようなものです。場所、数、大きさなどをくふうしています。



- ・学校の中や学校のまわりの消防しせつをさがして、地図に表してみましよう。
- ・地図を見てわかったことや考えたことを、みんなで話し合いましよう。

調べる

消防団や地いきの人々の取り組みには、どのようなものがあるでしょうか。



1 消防団のとん所 (写真は中央分団のとん所)



2 消防団の消火訓練



3 防火のよびかけ

<十和田市消防団>

- 分団数・・・11分団
 - 団員・・・712名
 - うち女性・・・20名
- (平成30年10月1日現在)

<活動内容>

- 消火・救助活動の協力
- 消火のあとしまつをする
- 貯水せつびの見回り
- 消防自動車などの手入れ
- 消火活動の訓練
- 防火のよびかけ

地域の人々の活動

はやとさんたちは、消防団の人に話を聞いてみることにしました。

消防団員の畑山さんのお話



消防団員は、ふだんは会社につとめていたり、農業をしたりと、自分の仕事をもっています。「自分の地いきは自分たちで守る」「地いきのために役に立ちたい」という思いで活動をしています。

火事が起きると、消防しよの人たちと協力して消火活動や救助活動にあたります。また、ひとりぐらしのお年よりの家へ訪問したり、防火を呼びかけるちらしを配布したりするなど、火事を起こさないようにいろいろな活動をしています。

消防団には男性が多いですが、女性の消防団員もふえてきています。これからは、女性団員ももっとふやして、地いきの見守り役としての活動もできればと思っています。



「消防しよ員や地いきの消防団員の人たちは、ぼくたちのくらしを守るために活動しているんだね。」



「わたしたちも、日ごろから火事を出さないように気をつけていきましょう。」

まとめる

調べたことをまとめ
ましょう。

火事からくらしを守る人々のはたらき

はやとさんたちは、学習してきたことを
ふり返り、火事からわたしたちのくらしを
守る人々のはたらきを関係図にまとめま
した。そして、関係図をもとに、「火事を
ふせぐにはどうしたらよいか」をテーマに
話し合いました。

火事などのさいがいからくらしを守る

火事が起きたとき

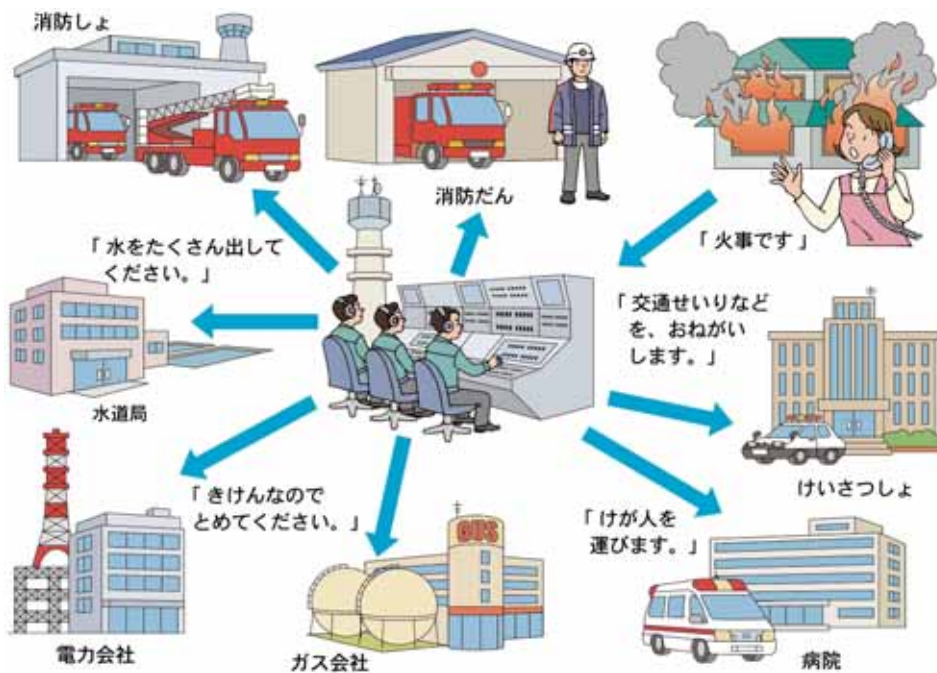
- ・火事するとき、消防しょ
だけでなく、いろいろ
な人たちが力を合わせ
ている。

さいがいにそなえたまちづくり

- ・まちには、さいがいにそな
えて、さまざまなせつびが
ある。

地いきの協力

- ・消防しょやまちの人た
ちは、火事のないとき
にも、くらしを守るた
めに活動している。



教科書のまなび方コー
ナーをさんこうに、自分
たちで関係図にまとめま
しょう。

そして、テーマについ
て話し合きましょう。

4 はやとさんたちがつくった関係図

テーマ「火事をふせぐためには、どうしたらよいか」





1 交通事故の様子

2 事故や事件からくらしを守る

つかむ！

交通事故は、どのようなときに起きているのでしょうか。

あおいさんたちは、先生が見せてくださった、交通事故の写真をもとに、話し合いました。



「大変。交通事故だ。自動車の前の方がつぶれてしまっているよ。」



「乗っていた人たちは、大変なけがをしているかもしれないね。どうして、こんな事故を起こしてしまったのかな。」



「十和田市では、今までにどのくらいの交通事故が起きているのかな。」

先生は、十和田市で起きた、交通事故のグラフを見せてくださいました。あおいさんたちは、事故の様子を話し合いました。



「交通事故の数は、毎年少しずつへってきているよ。」

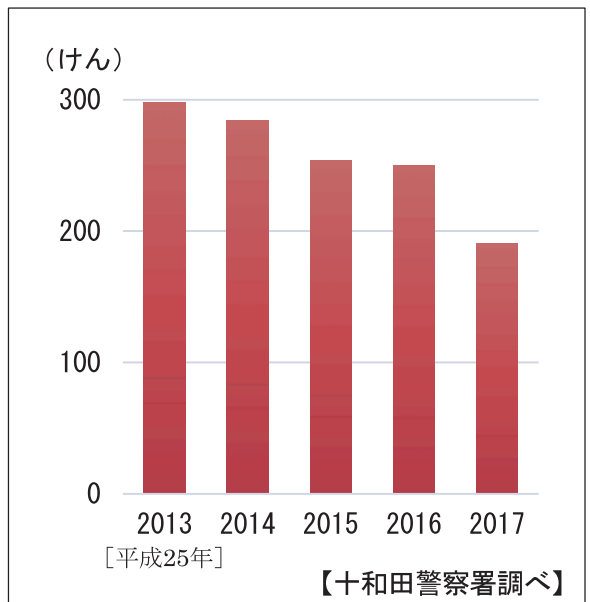


「へってはきているけど、まだまだ事故の数は多いよ。」

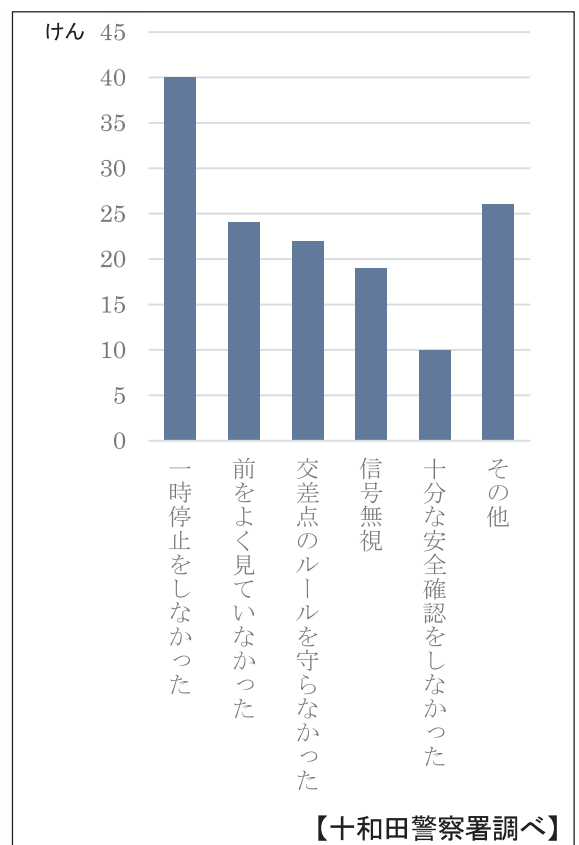


「わたしたちが気をつけていても、いろいろなことが原因で、事故が起きているよ。」

あおいさんたちは、交通事故のないまちにするために、だれが、どのような活動をしているのか、調べてみることにしました。



2 1年間に起きた交通事故の数



3 おもな交通事故の原いん (平成 29 年)

学習問題

事故や事件から人々の安全を守るために、だれが、どのようなことをしているのでしょうか。

予想・計画

学習問題に対して予想し、調べる計画をたてましょう。

予想を出し合い、調べる計画をたてよう

あおいさんたちは、学習問題について、
答えを予想してみました。

ゆいさんの予想

① が、事故や事件の起きやすいところを、気をつけて見ているんじゃないかな。



はるとくんの予想

まちのあちこちにある ② や ③ など、みんなに気をつけるようにしていると思うな。



ももかさんの予想

けいさつ官だけでなく、④ の人たちも ⑤ しているんじゃないかな。



わたしの予想

予想では、交通事故や事件をふせぐための活動が、いろいろ出されました。それらの予想をもとに、調べる計画を立てることにしました。

調 べ る こ と

- ア 110 番の電話があったときはどうするのか。
- イ 交通事故や事件をふせぐために、けいさつ官は、どのような活動をしているのか。
- ウ わたしたちの安全のために、どんなきまりがあるのか。
- エ 交通事故や事件をふせぐために、地いきの人は、どうしているのか。

調 べ 方

- けいさつしょや交番で、けいさつ官にたずねたり、電話取材でんわしゅざいをしたりする。(ア, イ)
- けいさつのホームページやパンフレットなどで調べる。(ウ)
- 交通安全協会きょうかいの人に話を聞く。(ウ)
- 地いきの人に話を聞いたり、電話取材をしたりする。(エ)

※ () 内は、調べること



1 十和田けいさつしょ



2 十和田中央交番

あおいさんたちは、計画にそって、けいさつしょと交番へ行き、けいさつ官の人たちに話を聞いてみることにしました。

P62 の答え ①けいさつ官 ②標しき ③信号 ④地いき ⑤協力

調べる

110番の知らせがあったとき、けいさつしょはどうするのでしょうか。

事故が起きたら

あおいさんたちは、十和田けいさつしょをたずねました。そして、けいさつ官に、交通事故が起きたときの活動のしくみをたずねてみました。



1 青森けいさつしょ通信指令室



2 事故の数を知らせるけいじ板



けいさつ官の話

110番の電話は、すべて青森市にある青森県けいさつ本部の通信指令室へ入ります。

通信指令室では、すぐに事故現場近くのけいさつしょにれんらくし、けいさつ官が現場に向かいます。けが人がいるときは、消ぼうしょへれんらくして、救急車をたのみます。

通信指令室に来た情報は、すべてコンピュータで処理されています。そのため、事故現場に最も近いパトカーへのれんらくが、スムーズに行われるのです。



3 110番があったときのれんらくの流れ

あおいさんたちは、けいさつ官から聞いた話を上のような図にまとめました。交通事故が起きると、通信指令室からのれんらくで、いろいろな人がすばやく活動するしくみがあることがわかりました。

けいさつ官の話



110番の電話は、みんなの命にかかわるとても大事な電話です。事故が起きたときは、1秒でもはやく現場に向かうために、わたしたちも努力をしています。ですから、ぜっ対にいたずら電話をしないようにしましょう。一本のいたずら電話で、一人の命を救えなくなることもあるのです。

現場をはやく特定するために

110番通報のとき、現場近くの道路標しきにはられている12けたの番号を伝えると、すぐに場所が特定できます。



事故や事件をふせぐために、どのような工夫をしているのでしょうか。

ことば

「法やきまり」

例えば、交通に関する法やきまりは、安心して毎日を送るためにひつようなものの一つです。

より安全な生活のために、法やきまりをみんなで考え、大切にしていける努力が欠かせません。

けいさつの仕事

あおいさんたちは、けいさつの仕事には、ほかにどんなものがあるか、調べてみました。



交番のけいさつ官の話

交通事故のしよ理のほかにも、たくさんの仕事があります。スピードいはんやちゅう車いはんのとりしまり、昼も夜もパトロールをしています。交番では、落とし物をあずかたり、道案内もしたりします。

交通事故をへらすには、みなさんが、道路交通法などの法やきまりを守ることが大切です。安全な生活を守るために一人ひとりが心がけることで、事故や事件がなく、みんなが安心してらせるまちなることが、わたしたちの願いです。

あおいさんたちは、ほかに事故や事件をふせぐ工夫にはどんなものがあるか調べてみました。

1 まちにある事故や事件をふせぐ工夫



点字ブロック



カーブミラー



ガードレール



歩道橋



防犯カメラ



歩車分離式信号



「とまれ」のステッカー



交通標しき



カラーほそう



注意をよびかけるのぼりばた



えん石

豆知識 十和田市には、けいさつしょが1つ、交番が2つ、ちゅうざい所が6つあります。



2交通安全教室の様子

調べる

交通安全のために、どんなルールがあるのでしょうか。

交通安全のためのルール

あおいさんたちの学校で、交通安全教室が開かれました。けいさつ官^{かん}や、交通安全協会^{きょうかい}の方々^{かたがた}が協力^{きょうりょく}してくださいました。家や学校

の近くで、自動車や自転車にぶつかりそうになったり、あぶないと思ったりしたことがないか、話し合いました。すると、自転車に乗^のっているときに、あぶないことが多いと気づきました。

そして、教えていただいた自転車のルールを、みんなで守ろうと話し合いました。

交通安全協会の方の話



わたしたちも、交通安全のためにいろいろな活動をしています。みなさんの学校にも、

交通安全教室などでお話をしに行っています。

歩行中はもちろんですが、特に自転車に乗るときには、十分気をつけてほしいと思います。乗る前の点検^{てんけん}、ヘルメットの着用^{ちやくよう}をきちんとし、交通ルールを守って自転車に乗ってください。

自転車に乗る時のルール



「止まれ」の標^{ひょう}しきがあるところでは、かならず必ず止まります。



決められた場所に、きちんとならべて止めます。



二人乗りはしません。



暗くなってきたら、ライトをつけます。

調べる

安全な暮らしを守るために、地いきの人々はどんな活動をしているのでしょうか。

地いきの安全を守る

あおいさんたちは、まちで「子ども110番の家」のステッカーをはっている店を見かけました。先生にうかがうと、地いきにも、安全を守る活動があることを教えてくださいました。あおいさんたちは、「子ども110番の家」に出かけ、店の人に話を聞いてみました。

ことば

「子ども110番の家」

いざというときに、子どもたちが助けをもとめられるようにしている店や家のことです。けいさつと協力して、地いきの人たちも、より安全なまちづくりに参加しています。

「子ども110番の家」の

山田さんの話



わたしの店では、入り口の所に「子ども110番の家」のステッカーをはってあります。ほかにも、同じようにはってある店が、いくつもあります。いつでも、子ども

たちの安全を見守ることができるようにするためです。ここの地いきは街灯も少なく、暗くなると少し心配です。

そこで、子どもたちが安心してわたしたちをたよれるように、日ごろからあいさつなどの声かけをしています。今では、子どもたちの方からもあいさつしてくれるようになり、とてもうれしく思っています。

ただ、自転車の乗り方がよくない子どもたちも、たまに見かけます。自転車も、きちんとルールを守り、安全に乗ってほしいですね。



1 「子ども110番の家」のステッカー

その他の地いきの安全を守る活動



2 市のじょうほうメール



3 交通少年団の交通安全の呼びかけ



4 通学路の見守り活動

まとめる

まちの安全を守る人について、事故や事件からくらしを守るはたらきについてまとめましょう。

安全を守る人の活動をまとめる

あおいさんたちは、事故や事件からくらしを守るために、だれが、どのような活動をしてきたかふり返り、事故や事件からくらしを守るはたらきについてまとめました。



「けいさつ官^{かん}はいろいろな仕事をして、わたしたちの安全を守ってくれていたね。」



「けいさつ官^{かん}だけじゃなく、地いきの人も協力して、安全なまちづくりをしていたね。」

あおいさんたちは、みんなで調べたことをもとに、まちの安全を守る人の立場で、安全マップをつくることにしました。



みんなでつくった安全マップを見て、あなたはどんなことを思いましたか。